



最後まで全力で

部長 勝木 茂

今年の運動会は、途中降雨もあり5月21日（土）、24日（火）の2日間にわたる開催となりました。保護者の皆様には、降雨による中断、プログラムの遅延や変更、新型コロナウイルス感染予防のための様々な制限等全てについてご理解とご協力をいただきましたこと心より感謝いたします。また、初等部生へのあたたかい拍手による応援、誠にありがとうございました。

コロナ禍の中で3回目となった今年の運動会、テーマは「最後まで全力で みんなが笑顔の運動会」でした。成長過程にある子どもたちにとって「全力でやる」「最後までやる」という体験は貴重であると考えます。もちろんこれから先も成長していくわけですから「今、もっている自分の力を最大限発揮して取り組もうとする体験」という方が良いのかも知れません。今現在、自分で意識している（なかなか難しいことではありますが）自分の力を最大限発揮して取り組むことにより、発達段階や個人差はありますが、「結構やれる自分」に気付いたり「あの子も凄いな」と気付いたりすることが可能となってきます。そして、自分の練習方法や取り組み方を振り返り、次の目標を立てることが出来るようになってきます。これらの過程において、親や教師等、身近な大人の適切な励ましや支援が必要なのは言うまでもありません。このことは、子どもたちの運動会の振り返りにもよく表れています。

○ときょうそうをがんばりました。「おかあさんにまけちゃったけれど、がんばったね」といわれました。2ねんせいになったら1ばんになりたいです。

（1年生）

○白組は赤組にかてなかったけれども、ルールをまもってせいせいどうどうとパネルをたくさんひっくりかえしたからうれしかったです。来年はぜったいに自分の組がかつようがんばりたいです。（2年生）

○今年の徒競走は6位でしたが、がんばって走れたのでうれしいです。わたしは、まがる時にスピードがおちてしまうので、もうまがりはじめている5番目なので有利かなと思ったのですが、やっぱりはや

くてぬかされてしまいました。来年は1位を目指してがんばりたいと思います。（3年生）

○4年生の学年種目はラケットリレーでした。練習の時からペアの友だちと声をかけ合っていたので、少しは声をかけなくてもコミュニケーションがとれるようになりました。コーンを回るときにボールを落としてしまいました。それは「スピード」に集中しすぎて「バランス」がとれなかったからだと思います。これからも2つのことに同時に集中しなければいけない時もあると思うので、そこを自分で考えていきたいです。（4年生）

○24日は学年種目「ジャンピング∞」でした。練習し始めの頃は全然続かなかったのに、本番はたくさん跳べて大満足でした。一人では出来ないこともみんなまで協力すると大きな力になることが分かったし、運動会が2回も出来てラッキーでした。（5年生）

○今回は初めて負けてしまいました。ですが、最高学年として下の学年の手本になれたと思いました。今回の運動会は、やはり応援が楽しかったです。「白組全員」がみんなまで支え合っていることがはっきりとわかりました。（6年生）

さて、話題は変わりますが、初等部におけるマスク着用についての基本的な考え方についてお伝えいたします。先ずこれまで同様「マスクの着用は基本的な感染対策」であることを前提に、教室（特別教室含む）での授業等、室内での活動においては、特段の理由がない場合は着用をお願いいたします。体育の授業時（体育館での体育、水泳を含む）や休み時間にグラウンドにて運動をする場合は、マスクの着用は必要ありません。（ご家庭の方針でマスクを着用する場合はこの限りではありません）また、登下校時に電車やバス等公共交通機関を利用される場合は、その車内においてはマスクの着用が必要と考えます。

これから先、気温・湿度や暑さ指数が高い日には、熱中症のリスクが高まります。登下校時も含め、十分な身体的距離が確保できる場合は、マスクの着用は必要ないと考えます。ご家庭においてもお子様の健康安全について引き続き十分にご指導いただくようお願いいたします。